

令和5年度授業改善推進プラン

- (取組内容)
- ・本年度の自己の研修課題に関連し、自己の授業を分析し課題を見いだす。
 - ・見いだされた課題に対し改善プランを立て、指導方法の工夫・改善を図る。
 - ・学期の終わりに検証を行い、来学期につなげていく。

英語科 (教室)

★教科・観点について

学力向上のための調査・期末テスト及び学期の学習状況、生徒の授業アンケートをもとに分析し記入する。 <○成果 ▲課題>

観点	1 学期			2 学期			3 学期
	学年	課題分析	具体的な改善策	学年	課題分析 (授業改善・評価)	具体的な改善策	改善プランの評価・来年度にむけて
知識・技能	1年	○新出語句や文法の学習、教科書範囲の復習が定着しつつある。 ▲自ら進んで取り組めない。	・学習習慣が定着するまでは、宿題の提示と確認を毎時間行う。 ・知識や技能の定着を生徒自らが確認し改善できる方法を、具体的に伝える。	1年			
	2年	○新出語句や文法の学習の習慣が確立していない。 ▲学習習慣に大きな差がある。		2年			
	3年	○学習方法を自ら選択し、文法の学習に取り組むことができる。 ▲知識・技能の定着が不十分である。		3年			
思考・判断・表現	1年	○毎時間の目標を意識しながら、クラスメイトと協力しながら意欲的に取り組むことができる。	・毎時間の言語活動の積み重ねが、単元末の活動につながるよう、授業構成を工夫する。	1年			
	2年	○ペアやグループで協力しながら言語活動に取り組むことができる。 ▲知識・技能の差が影響する様子が見られる。		2年			
	3年	○毎時間の授業や単元末の目標を意識しながら、言語活動に取り組むことができる。 ▲言語活動に消極的な姿が見られる。		3年			
主体的に学習に取り組む態度	1年	○ペアワーク、グループワークに意欲的に取り組む姿が見られる。	・単元ごとの学習方法についての振り返りを引き続き行い、自分に合った学習ができるよう習慣付ける。	1年			
	2年	○与えられた課題を自分のペースで取り組むことができる。 ▲現状に変化を求めず、自ら課題を見つけて取り組まない姿が見られる。		2年			
	3年	○与えられた課題を自分のペースで取り組むことができる。 ▲自ら目標設定をしたり課題を見つけて取り組んだり姿が見られない場合がある。		3年			
研修課題 (キャリア教育に関連した教科としての取組)	研修課題に対する教科としての具体的な実践方法		1 学期の成果と課題	1 学期の結果を踏まえた具体的な実践方法及び追加内容		2 学期までの成果と課題	1 年間の成果と今後の課題
・生徒の主体性を育む授業 ・地域や小中との連携を生かした取組	・英語の使用場面を現実の生活の中でイメージできるような課題設定をする。 ・小中で共通した題材の設定を行う。		○身近なテーマ設定をすることで、課題に対し具体的なイメージをもって取り組むことができた。 ▲共通した題材の設定について、小学校と具体的に話を進めていく。				